

わくわく探検隊！

高槻わくわくファーム 2009 活動報告書
とかいなか原☆子ども農活！

事業名：農林水産省 平成 21 年度につぼん食育推進事業「教育ファーム推進事業」
事業実施主体：(社) 農山漁村文化協会

「わくわくファーム」 のコンセプト。



自然とふれあうきっかけ作り。

子どもたちに日頃経験できない自然体験の場を作り、自然の恵みや摂理を学ぶ機会をつくっています。

仲間を大切にすることを学ぶ。

自然から学ぶことは、学校で教えられることばかり。また、自然は私たちに、仲間と協力することの大切さや、忍耐力、思いやりの気持ちなどを教えてくれます。自然体験を通じ、子どもたちの仲間づくりを支援し「子どもだけの遊び場」を作っています。

高槻の「食」から「生命」を感じる。

自然の恵みは「水」と「土」。そして、生産者の苦勞があつて、私たちは食べ物を口にしています。「食」を学ぶことは、食べ物への感謝の気持ちにつながっています。地元で採れた農作物の生産、収穫や調理を通じ、子どもたちに「食べることは生命をいただく」ことだということを伝えています。

地域の人、歴史、文化を知り、伝える。

地域の専門家や地域の方より全面協力を頂いています。子どもたちにとって日頃経験できないことばかりです。大人と交流する機会が減り、地域への理解が低くなりつつある今、高槻の自然、歴史や文化を見つめ直し、子どもたちへ残し伝えていくことが必要です。

農林水産省「教育ファーム推進事業」について。

農林水産省が提唱する「教育ファーム」は、生産者（農林漁業者）の指導を受けながら、作物を育てるところから食べるところまで一貫した「本物体験」の機会を提供する取り組みです。体験を通して自然の力やそれを生かす生産者の知恵と工夫を学び、生産者の苦勞や喜び、食べものの大切さを実感することが目的です。

ここで言う一連の農作業等の体験とは、体験者が、実際に農林水産業を営んでいる方の指導を受け、同一作物について2つ以上の作業を年間2日以上期間行うことを指します。

以上の事業コンセプトを「高槻流」にアレンジしたのが「高槻わくわくファーム」です。

テーマは「とかいなか原☆子ども農活！」。子どもたちの「第2のふるさと」である原地区では遊休地7反の解消に向け、現在2反の耕作地化が進んでいます。子どもたちは、そのうち1アールのは場での活動を通じ、農業と里山の環境が密接な関係にあることを理解し保全活動に貢献することを目的に活動しています。

2009年度は高槻市教育委員会より協力を頂き、高槻市内の全小学校（41校、3～6年生児童）へ参加者募集チラシを配布しました。その結果、年間プログラムとして募集展開（年間パス会員制）、参加者は60名で実施されました。



*2009年度隊員募集チラシ



どうです？慣れたもんでしょ！

わくわくファームで米作り。



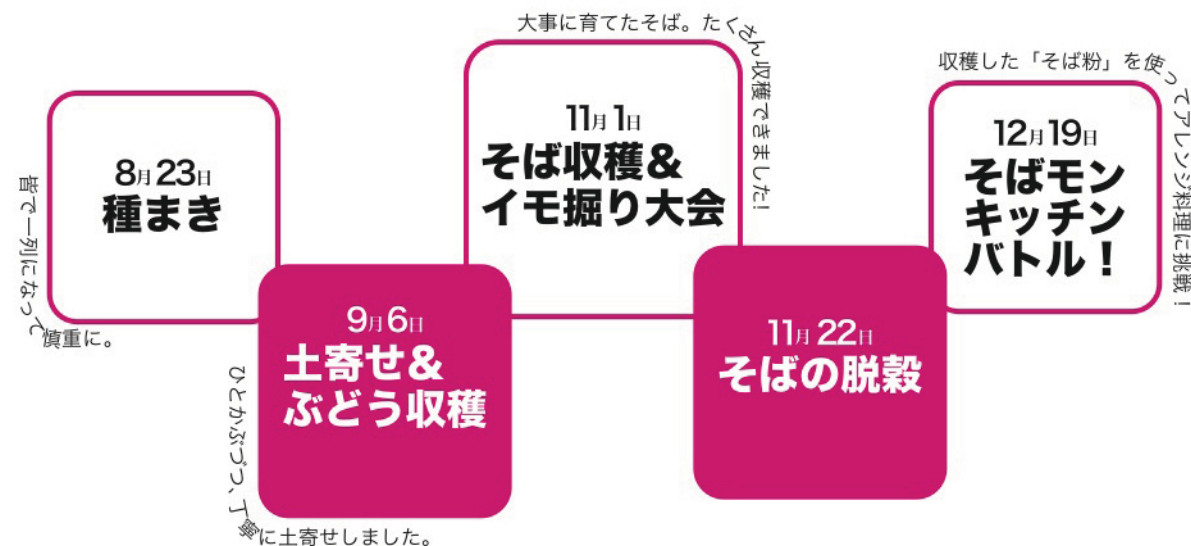
ココに注目！ → 地元農家と子どもたちが交流を深める「収穫祭＝地元野菜の販売会」を実施。

米作りを通じて子どもたちの農業に対する理解を促すとともに、生産の現場から流通、販売までの一連のプロセスを体験する機会を創出することで、食の安心・安全への意識を高めました。また、地元農家さんとのふれあいを深めるきっかけとして、収穫した農作物を販売する村おこしプロジェクト「原いっぱい収穫祭」を開催。「教育ファーム」の地域への広がりを推進しました。また「どぶろく特区」である原地区の酒造りの現場において、米作りから醸造過程までの学習を通じ、地域の伝統・歴史に対する理解を深めました。



思わず集中！カメラにも気づきません。

わくわくファームでそば作り。



ココに注目！

昔の農機具を体験する「そばの脱穀」を実施。

そばの脱穀では、昔から使われている機械を使用し農作業の苦労を理解することで、機械化された農業との違いを学習しました。台風や天候不順の影響もありましたが収穫できました。

今年の目玉は「そばモン☆キッチンバトル！」。

2009年度最も人気があったイベント。子どもたちが収穫したそば粉を使って、「コナモン」ならぬ「そばモン料理」に挑戦しました。ルールはいたって簡単。子どもたちが大好きな料理を「そば粉」を使って作ってみようというもの。班ごとに分かれ調理方法、トッピングを考えておいしい「そばモン」を作りました。

＊料理指導とレシピ提供は、大阪府茨木市にある「ibc-studio ばん&料理教室」井上千加先生よりご協力を頂きました。



みんなでアイデアを出し合って世界に一つのそばモン料理が完成！



みんなと一緒に過ごした夜は大切な思い出！（上段：里山合宿／下段：英語 DE キャンプ）

作る体験だけじゃない！人気の宿泊プログラム。

8月22日～24日
**たかつき
里山合宿**

9月12日～13日
**わくわく
英語DE
キャンプ**

共催：銚高槻市都市交流協会

今年も参加した子どもたちイチ押しのプログラム！親元を離れ共同生活することで、子どもたちの緊張した気持ちがほぐれ「わくわくファーム」が楽しいものになっていきます。また、収穫した農作物を販売することで商売人の気持ちを体験したり、仲間で協力することを学んだり、子どもたちにとって日頃経験できないことが体験できました。



朝市体験



秘密基地



アユつかみ

子どもたちの声。

・友だちが増えてよかった！

—小5・女子

・秘密基地ができて
とてもうれしかった。

—小3・女子

・鎌を使って稲刈りをしたのが楽しかった。

—小3・男子

・森の中に初めて入った！

—小6・女子

・きもだめしがめちゃ楽しかった。

—小3・男子

・田んぼに入って最初は「きもちわる～」と
思ったけど、面白かった。

—小5・女子

・昼市で野菜をいっぱい売ったのが楽しかった。

—小4・男子

・キャンプのカレーが
おいしかった！

—小3・女子



・田植えはむずかしそうかな思ったけど、
意外に簡単でした

—小5・女子

・木の皮が手でむけて面白かった。

—小4・男子

・ホット隊長のさむ〜い
ギャグはいらなかった。

—小6・男子

・昼市の仕入れが大変だったけど全部売れた！

—小4・男子

・全部楽しかった！
一生の思い出になった！

—小3・女子

・田植えは足がネチョネチョ、
稲刈りは鎌でジャキジャキした！

—小4・女子

・わくわくの前の日は
楽しみで眠れなかった！

—小4・男子





可能性広がる、「わくわくファーム」

各方面より注目を受けた「高槻わくわくファーム」

- ・そばの種まきと調理体験の様子が、読売新聞（関西）HP動画「よ～みて」に紹介されました。
- ・農林水産省平成21年度農業白書の「取組事例調査（取材）」現地調査対象に選ばれ、本省大臣官房情報評価課情報分析・評価室より室長、企画官、係長が現地調査へ。
- ・近畿農政局大阪農政事務所、高槻市より石井克尚副市長、渡邊泰之政策統括監兼市長公室長が視察へ。
- ・平成22年1月、教育ファーム推進全国大会（東京国際フォーラムにて開催）で事例紹介。
- ・平成22年2月、大阪府三島地区農業振興団体協議会主催の研修会にて「高槻わくわくファーム」の取り組みを発表しました。



読売新聞取材



石井副市長視察



研修会発表

・NPO 法人アダージョは、平成22年4月に NPO 法人ノート



へ生まれ変わります！

ボランティアスタッフ紹介。



ホット隊長

本名：杉本真一
趣味：畑いじり、ジム通い。
自称グルメ通（野菜を育てるようになってから素材にこだわるようになった!?)

Q. 普段は何をしているの？
A. 高槻の小中学校で様々な支援活動をしています！
（高槻市学校支援コーディネーター、不登校支援員など）

いつも「わくわく探検隊」を支えてくれている
スタッフを紹介します！



あっちゃん



こうくん



つんさん



にっちゃん



まあくん



りょう



カメさん



グッチ



ジュン



タカミー



タケちゃん



トモちゃん



ハマちゃん



ヒラチャカ



ミント



モアイ



ヨッシー



のりちゃん



お世話になったみなさま。

※順不同 / 敬称略

高宮智仁 平高聡士 山本悠太 浜谷洋平 浜谷厚史 川村吉弘 井上恵 土井春子 切山千里 長谷部美穂 小柳智美 山口和子
木野村泰子 木野村温子 清水朋子 清水則子 大林静香 大崎安未子 高田佳奈 天谷優子 榊真由美 福田ゆき 千田紗知奈 加藤美咲
阪上良太 西岡親平 常岡洋人 高瀬大輝 平田祐輔 平田昌弘 貴田晃平 檀康貴 平田香織 林美里 林美幸 山川純平 木村晃一郎
高橋潤 上田武 西元良輔 西勇二郎 山口毅 豊田由利 保田佳都子 水野寛子 平井友美 石井克尚 渡邊泰之 山本政行 石下誠造
松政恒夫 宮田隆 梅本定雄 竹下守雄 岩村浩一 平田太 黒田賢行 左海英和 岡崎幸雄 野口大義 北野豊 藤井敏温 小林正光
前地利治 平尾陽 松久摩耶 小森愛 達輝雄 金岩正義 田中英夫 矢野根善和 上田博夫 山口英夫 上田昌弘 坂本敦 立石博幸
樽井弘三 前田勉 永井恵子 西田隆 山本陽一 関美香 長井勘治 幸幸司 阿部勲 小泉勝利 齋藤健 伊佐寛 大山貴司 近藤圭
北川治郎右衛門 山田忠男 中尾卓嗣 藤澤義彦 中村裕一 栗田庄一 浅尾芳明 蜂屋基樹 金谷真理子 勝野美江 中島敏明 小柿正武
森田修 井川勝巳 竹中繁治 柿原勝彦 岡山雅彦 日笠一夫 大矢正彦 北川哲 平賀清治 岡田勝男 橋本美智子 古川義美 小濱達郎
笹岡孝徳 中川修一 小石玖三主 古澤暢之 平野哉枝 川口和徳 森田崇之 氏野裕之 西依侑 山下哲也 秋月悟 西口忠幸 大石ひとみ
井上千加 高橋英夫 小林高 渡辺美広 鈴木修治 西辻一真 宮津昭 松尾正樹 北口寛和 有川潤 藤本定男 谷口宏 岩谷平行
谷郷博文 谷郷武志 奥正雄 八木脩 畑中武 近藤眞道 林弥司 林敏子 狩野千枝野 大正水流明 西田義男 近藤信昌 佐藤功
畑中一善 畑中秀子 畑中喜代司 杉本真一 原地区のみなさん

<協力企業・団体>

株式会社入谷商会 株式会社大一工務店 八木農事 ニュービット 唐崎屋 レストラン錦松鶴 マルコー マルヤス真上店
マックスバリュ高槻南店 ibc パン&料理教室 高槻森林観光センター 高槻しいたけセンター ニ料山荘 NPO法人芥川倶楽部
高槻まつり振興会 原公民館 神峯山寺 高槻ケーブルネットワーク株式会社 高槻市社会福祉事業団高槻市看護師会 高槻市交通部

<主 催>

高槻とかいなか教育ファーム推進協議会

構成団体：高槻市農業協同組合 原地区連合自治会 実行組合原連合会 原水利組合協議会 芥川漁業協同組合 原地区環境保全会
大阪府森林組合三島支店 NPO 法人森のプラットホーム たかつき中通り本通り商店街振興会 畑中農園（農業指導）

連携団体：大阪府北部農と緑の総合事務所 高槻市 高槻市教育委員会 高槻商工会議所 財団法人高槻市都市交流協会
社団法人高槻市観光協会 株式会社ヨードクリーン 株式会社マイファーム 大阪ガス株式会社
わくわくストリート21実行委員会

<事務局>

NPO 法人アダージョ（高槻市青少年教育団体）

※本誌で使用している子どもたちの写真掲載に関しては事前に保護者より承諾を頂いております。
無断掲載、無断複製などの使用を一切禁止致します。

すべてはここから始まった。

残念なお知らせです。これまで「わくわくファーム」へご協力頂いた畑中喜代司さんが
11月13日17時25分ご逝去されました。子どもたちのために田畑を貸していただき、
原公民館での「たかつき里山合宿」、魚つかみ大会や川遊び、神峯山寺での座禅など、
すべてのイベントが畑中さんの協力で実現できました。



思い起こせば2007年の夏、「子どもたちにもぎたての夏野菜でバーベキューをさせて
欲しい…」とお願いした名の知れぬ私のことを受け入れてくれたのが「きよっさん」
でした。今、こうしていただけるのも、わくわくファームが続いているのもきよっさんのおかげです。

ほぼ毎日、きよっさんのところへ通っていました。きよっさんは軒下のいつものイスに座っていました。一緒に
笑ったり、時には怒られたり、夢を語り合ったり、夜遅くまで話したこともありました。きよっさんは、原のこと、
高槻の農業のこと、いろんな思いを話してくれました。

13日の夕方、気になって病院へ行ったら時、きよっさんは最期を迎えようとしていました。私はただ見ただけ
でした。しばらくすると、自然と涙が流れてきました。不謹慎ですが、奇跡的に畑中喜代司の最期に立ち会うこ
とが出来てうれしかったです。きよっさんは目から涙を流していました。あれからたくさん泣きました。

翌日のイベントで子どもたちに伝えました。子どもたちも一緒に悲しんでくれました。みんなできよっさんの
家の前まで行ってお祈りをしました。子どもたちはみんなきよっさんへ感謝の気持ちでいっぱいです。

ありがとう、きよっさん。

ホット隊長のブログより（2009.11.16）



「高槻わくわくファーム 2009 活動報告書」 平成 22 年 2 月発行

発行：高槻とかいなか教育ファーム推進協議会 〒569-0065 大阪府高槻市城西町 5-3 ☎072-672-5173

発行人：杉本真一 編集人：FastLife

ブログも発信中！ 探検隊ブログ2 検索